

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2009
平成21年

12.15

目次	
広報サポーターカメラリポート	2
絶景かなぐさじき岩からの眺望	
野田校区	4
学校は今…	5
体力づくりの取り組み	
たはらしティニュース	6
田原市民活動支援センターのページ	7
お知らせ	8
連載コーナー	10

華やぐ季節の
贈りもの！



広報サポーター
カメラリポート

たはらに新名所!? 絶景かな『さじき岩』からの眺望

皆さんこんにちは。広報サポーターの金田です。空気が澄み、景色が楽しめるなど、山登りには絶好の季節になりました。今回は、衣笠山の山頂近くで発見された、新しい絶景ポイントについてご紹介します。

衣笠山へのトレッキングは、たはらアルプストレッキングガイドが便利です。田原市観光協会で配布されています。



ひろ やす
広報サポーター 金田紘泰
(田原町)



▲さじき岩の上でポーズを決める湯上さん

衣笠山(278m・田原町)の山頂近くに、巨大な畳状の岩があります。チャートという硬い岩石でできたこの岩は、誰が名付けたのか『さじき岩』と呼ばれています。ここからの眺めは本当に美しく、渥美半島を代表する大山や雨乞山、太平洋や三河湾まで一望できます。天気が良いときには、はるか伊吹山方面まで望める絶景スポットです。

湯上さんのオススメは、春の山桜や初夏の新緑。また林床部で見られるシランやギンラン、ヤクシソウも可憐とのこと。秋には、アケビやムベの実も見つけることができる『さじき岩』への道。皆さんも足を運んでみませんか。



▲さじき岩からの眺望(仁崎方面)

※たはらアルプストレッキングガイドのお問い合わせは
田原市観光協会 ☎23局3516 FAX22局3817

●田原パシフィックロータリークラブさんからのご投稿



私たちの活動をご紹介します

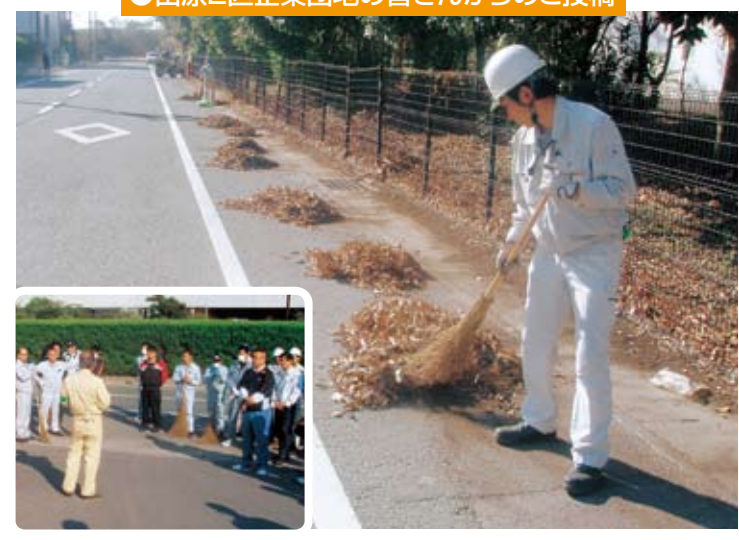
今回このコーナーでは、市民の方からの「みんなが、どんな活動をしているのか知りたい!」「私たちの活動を紹介して!」の声にお応えして、広報たはらに寄せられた市民活動についてご紹介します。



11月4日(水)に、知的障害者施設「蔵王の杜」と「田原授産所」で防火隊の結成式を行い、入所者ら約150名が参加しました。これは、田原パシフィックロータリークラブの20周年記念事業として実施したもので、「火の用心!」と叫びながら田原消防署までパレードしました。

●田原2区企業団地の皆さんからのご投稿

11月7日(土)に、田原2区企業団地内で清掃活動を行い、立地する企業11社から約40名が参加しました。道路路肩の土砂を除去したり、ごみや枯葉、雑草などを片づけたりするなど、秋晴れのもと、さわやかな汗を流しました。



●NPO法人ゆずりは学園さんからのご投稿

お気軽に、ご意見やご要望をお寄せください。また、写真などのご投稿もお待ちしております。
▼あて先 田原市役所広報たはら
〒441-3409



11月26日(木)に、木で作った「手作りのイス」を、市内の16保育園に寄贈しました。これは、田原市市民協働まちづくり補助金事業の一つとして採択された活動として行ったものです。大きく口を開けたユニークなカバのイスに、思わず園児もニッコリしていました。

野田

●校区自己紹介⑦

基礎データ

【人口】3,508人(H21.10.31現在)
【世帯】898世帯(H21.10.31現在)
【面積】約1,745ha
【公共施設】野田保育園・野田小学校・野田中学校・サンテパークたはら・仁崎海水浴場・馬草港
【史跡】大アラコ古窯跡・山崎遺跡・向山古墳群・阿志神社
【主な産業】農業



●西山から三河湾を望む

校区の概要

野田校区は、田原市の中央部に位置し、古くから米作りを中心とした生活が営まれてきましたが、近年は施設園芸・畜産・野菜を中心とした農業に変容してきました。



●施設園芸(カーネーション)

明治43年に全国模範村として表彰を受けてから、来年で百周年となります。その間、昭和57年には「農林水産祭 豊かなむらづくり部門」において内閣総理大臣賞を、平成17年には、文部科学大臣から優良公民館表彰を受賞しています。また、平成14年には、かねてからの念願であった「野田史」を発刊することができました。



●野田史

校区は、13の地区で構成され、子どもからお年寄りまでのつながりを重視した地域運営を行っています。毎月25日には、各地区において

定例集会を開催し、連絡事項などの周知徹底を図っています。

まちづくり推進計画

“「和」「輪」「環」と笑顔で 明日を創る田原のド真ん中、野田校区」を将来像に、「住みやすく美しい、快適な地域」「生き生き働く、活力ある地域」を目指しています。そのために、昭和55年に定めた農地土地利用についての「申し合わせ事項」を見直しました。また、基幹産業の一つである農業(園芸施設・畜産・露地)の発展や、土地利用の適正化、生活環境の改善をはかるため、「環境5原則」「野田校区農地土地利用計画図」を示し、総会で承認されています。



●農地土地利用の申し合わせ事項

野田夏まつり

青年会員の減少により開催不可

能となった盆踊りをなくしてしまうには、あまりにも寂しすぎ、校区が沈静化してしまうということで、実行委員会の人を中心に、各種団体の協力のもとに、子どもから大人まで全員参加の「野田夏まつり」を平成9年から始めました。



●盆おどり(サンテドーム)

まつりは毎年8月初旬に開催しており、小学生親子による手作りのみこしの練り歩きや、だんご・ポテト・ゲームなどの出店や催しがあり、家族で楽しむ昔ながらの光景が見られます。夕暮れ時から、保育園児やレディースクラブを中心ににぎやかな盆踊りが始まり、楽しいひとときを過ごします。クライマックスは花火です。手筒花火をはじめ、芦ヶ池に写るスターマインは、感動の渦となります。この夏まつりは、従来の盆踊りを継続させるのではなく、野田校区の活性化と校区民の新たなネットワークづくりに貢献しています。



学校は、今…

SCHOOL REPORT 17

体力づくり の取り組み



各学校では、子どもたちの体力向上のために、教育活動の中で体力づくりに取り組んでいます。今回は、小学校での取り組みとして、縄跳び運動とかけ足運動をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679



元気に縄跳び運動！（高松小学校）

高松小学校では、1月下旬から約1か月間、毎日縄跳び運動を行っています。本年度は平成22年2月19日に、縄跳び大会を予定しています。短縄跳びでは、技術を向上させること、長縄跳びでは、フレンズ班（縦割り集団）での低学年と高学年の交流をねらいとしており、大会に向けて子どもたちはみんなで練習します。練習の時間は2時間目の放課で、フレンズ班の練習は昼放課などにも高学年を中心に行います。短縄跳びの練習は、全学年共通の「前回し」を2分間練習し、1分間休憩の後は学年種目の練習をします。1年生は「前回し跳び」、2年生は「後ろ回し跳び」、3年生は「かけ足跳び」、4年生は「あや跳び」、5年生は「交差跳び」、6年生は「二重跳び」です。

「子どもは風の子」。寒い日でも、外で元気に運動する子どもたちの姿、仲良く長縄を跳ぶ姿は、ほほ笑ましいものです。



▲短縄跳びの記録に挑戦！



▲フレンズ班で長縄跳び



▲新記録を目指してスタート！



▲ゴールを目指して激走！

寒さに負けないぞ！かけ足運動（泉小学校）



泉小学校では、学芸会が終わると、全校児童によるかけ足運動が始まります。2時間目の放課を使って、自分のペースに合わせて、5分間走ります。期間は11日間ですが、走っているどの子の顔も真剣です。

この11日間のかけ足運動の成果を披露するのが、校内持久走大会です。低学年は「600m」、中学年は「800m」、高学年は「1000m」を走ります。40年近く前から、学校南側の農道をコースとして使っており、保護者の応援の中、力一杯走る子どもたちの姿が見られます。泉小学校の過去の記録では、昭和41年（1年男子）、平成3年（1年女子）、平成8年（5年女子）のものが、いまだ破られずに残っています。平成16年には、6年男子で3分3秒という記録も残されています。昨年は、3名が新記録を出しました。今年も自己新記録、そして大会新記録を目指す子どもたちの挑戦が楽しみです。

11月22日(日)

夢の架け橋
早期実現を！

11月22日(日)・23日(月・祝)の2日間、**4回田原市長杯少年野球交流大会**が開催されました。伊勢湾口道路の早期実現を目指し行われている同大会に、今年は田原市から14チーム、伊勢・志摩地域などから18チームが参加し、熱戦を繰り広げました。



▲健闘を誓って、元気いっぱいに選手宣誓する加藤くん(豊浜スポーツ少年団)

11月15日(日)

新鮮な秋の味覚
ご賞味あれ！

サンテパルクたはらで**秋の収穫祭**が開催されました。渥美半島の新鮮な農畜産物や、友好都市・長野県阿南町の五平餅などが販売されたほか、ビンゴ大会、恒例の餅投げなどが行われ、約4500名の来場者でにぎわいました。



▲お値打ちな商品を買求める人で、開店時からにぎやかなサンテドーム内

11月15日(日)

体験して学ぶ
いのちの大切さ

乳しぼり体験教室がサンテパルクたはらで開催されました。命をいただいていることを学ぶ目的で行われたこの教室には、170名が参加。牛に触れた子どもから「すぐくあったかいんだね」と声があがるなど、『いのち』を感じる体験になったようです。



▲間近で見る牛の大きさに驚きながらも、ミルクが出るとニコリ



田原市民活動支援センターのページ

“心豊かなひとときを、美しい音楽とともに”

あつみロビーコンサートで音楽を身近にしてみませんか

「あつみロビーコンサート運営スタッフ会」は、平成15年度渥美町まちづくり支援事業の一つとして活動をスタート。以来6年間、37回のコンサートを運営スタッフと地元中学生ボランティアと共に手作りで実行してきました。

秋から冬にかけて毎月1回、日曜の午後のひとときをお茶と音楽で楽しむイベントです。

本年度のスケジュール(第39&40回)の詳細は以下のとおりです。お楽しみに!

時間/13:30開場 14:00開演 場所/田原市渥美文化会館 ラウンジ
料金/各回 500円 ドリンク&お菓子付き *託児有り(要予約)



第39回

1月17日(日)

ピアノトリオ

～心に残る名曲を
軽やかに弾む弦楽の調べで
豊かな心のひとときを～

バイオリン:木田史子
ピアノ:安藤悦子
チェロ:星野順一



問合せ あつみロビーコンサート事務局
Tel/Fax (0531)32-3963 090-4213-0596
http://music.geocities.jp/alc_tahara/

第40回

2月14日(日)

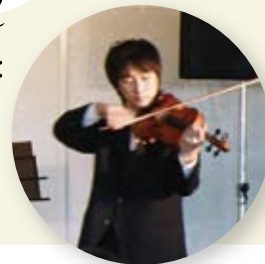
ピアノ弾き語り

with パーカッション

「日溜り猫」

～日本の名歌の数々が
温かく心に響きます～

ピアノ/ヴォーカル:
琳佳(rika)
パーカッション:
馬場和也



助成金・補助金情報

市民活動を行うために、さまざまな補助や助成があります。ここではタイムリーな助成金情報を掲載。

助成事業名	内容や対象など	申請期日	申込み・問合せ
住まいとコミュニティづくり活動助成	住まいとコミュニティづくりに関する分野の1年間における活動	1/15(金)	(財)ハウジングアンドコミュニティ財団 Tel (03)3586-4869 http://www.hc-zaidan.or.jp/
新エネルギー等非営利活動促進事業	新エネルギー・省エネルギー導入普及活動や普及啓発活動	1/29(金)	(独)NEDO技術開発機構 Tel (044)520-5182 http://www.nedo.go.jp

今後の市民活動ニュース

来月、2010年1月に行われるイベント情報をご紹介します。

内容	会場ほか	連絡先
1/10(日)・16(土)・17(日) 10:00~15:00 田んぼの学校 ～里山で秘密基地づくり& 椎茸の菌打ち体験!～	どろんこ広場 定員:30名の2クラス制 参加費:各回 900円	NPO法人はつくるベリーじゃむ Tel (0531)34-1234 e-mail info@huklejam.com
1/24(日) 14:00~16:00 市民のライフアップセミナー 一国際結婚から見てくる移住女性の適応 ＜市民協働まちづくり補助金助成事業＞	講師/賽漢卓娜(サイハンジュナ)さん 田原福祉センター 3F会議室 参加費:300円	女性会議WITウィット 事務局 Tel/Fax (0531)32-3963 090-2944-9004(平野)
1/26(火) 11:00~11:40 「ぴーかぶー」 ＝わらべ唄あそび・布あそび・劇遊び＝ (公演/劇団風の子九州)	田原文化会館 多目的ホール 対象:0～3才児・大人 参加費:1500円	豊橋みなみおやこ劇場 Tel/Fax (0532)25-4819 090-8339-4205(柴田)

通年

市民活動支援センターでは、NPO・市民活動相談などを受け付けています(毎週金・土・日午後2～7時、田原文化会館フリースペース)。同時にこの広報ページへの持ち込み原稿も大歓迎です! *紙面の都合上、内容を編集させていただく場合がありますのでご了承ください。

投稿先: 市役所市民協働課 TEL: 0531-23-3504 FAX: 0531-23-0180 Email: kyoudou@city.tahara.aichi.jp
紙面作成・編集: 田原市民活動支援センター





表彰

瑞宝単光章^{すいほうたんこうしょう}授章

元法務教官の杉村郁夫さん（福江町）が、永年にわたる功績を称えられ、秋の叙勲の瑞宝単光章の栄に浴されました。

募集

田原市臨時職員 臨時保育士・調理員・用務員

▼募集人員 各若干名 ▼採用期間
平成22年4月1日～9月30日（更

田原市臨時保育士・調理員・用務員

職種	業務内容	賃金	勤務時間
保育士	乳幼児の保育	時給1,100円～1,200円	午前7時30分～午後4時15分 午前8時30分～午後5時 午後4時15分～6時15分 午後4時15分～7時15分 ※上記のいずれかの時間
調理員	給食の調理、園舎の清掃など	時給910円	午前8時30分～午後4時15分
用務員	給食の配膳、園舎の清掃など	時給850円	午前8時30分～午後5時

新される場合あり）▼勤務場所 市内保育園 ▼勤務形態 月曜～金曜日（ただし8月13日、祝日を除く）
▼職種・業務内容・賃金・勤務時間
表のとおり ▼申し込み 平成22年1月15日（金）までに子育て支援課へ直接お問い合わせください。
▼その他 臨時保育士の場合は、保育士資格が必要です。
▼子育て支援課
☎23局3513 FAX 23局3545

「シエルまよしご」新春企画 田原風つくりの風あげ教室

伝統の田原風を作って、「シエルまよしごの丘」で風あげに挑戦してみませんか。

▼対象 小学生以上 ▼日時 平成22年1月24日（日）午後1時～3時30分 ▼場所 シエルまよしご（吉胡貝塚史跡公園内） ▼講師 田原風保存会 ▼内容 田原風つくり（吉胡貝塚資料館体験学習室）／風あげコンテスト／みんなでアーチカイト（シエルまよしごの丘）※風あげは、悪天候の場合は中止します
▼定員 25名（先着順） ▼参加料 200円（材料費相当） ▼申し込み 平成22年1月22日（金）までに吉胡貝塚資料館に直接または電話にて

▼吉胡貝塚資料館（シエルまよしご）
☎22局8060 FAX 22局8070



▲昨年の様子

台風18号における田原市の被害状況（11月25日現在 確定報告）

- 住家被害
全壊 1棟1世帯7人
一部損壊 186棟158世帯651人
床上浸水 46棟36世帯106人
床下浸水 90棟56世帯169人
- 非住家被害
損壊 129棟
浸水被害 100棟
- 農産（農作物等）被害額
約30億8558万円
- 農業施設被害額 約13億1539万円
- 水産被害額 約8113万円
- 公共文教施設被害額（学校）
約888万円
- 公共土木施設被害額 約7045万円
- その他公共施設被害額
約1億2478万円

※今回は、広報たはら11月1日号に掲載した状況から、更新されたもののみを掲載しています。

防災に関するご意見・お問い合わせ

▼防災対策課

☎23局3548 FAX 23局0180

✉saigai@city.tahara.aichi.jp

パソコン教室 受講生

▼対象 18歳以上の市内在住・在勤の方
▼定員 各コース20名(先着順)
▼場所 情報センター

▼受講料 無料(テキスト代は実費負担)

▼申し込み 直接または電話・Eメールにて(Eメールの場合は、住所・氏名・電話番号・生年月・希望コース・テキスト希望の有無を明記) / 休館日は月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始12月28日(月)～平成22年1月4日(月) / ▼その他 受講申し込み中のコースを含め、同時に一人2コースまでお申し込みいただけます。

※情報センターのメディア研修室のパソコンが新しくなりました。メディア



▼情報センター

☎ 22局 7200 FAX 23局 2808

✉ ijosys@city.tahara.aichi.jp

パソコン教室

コース	内容	コース記号	開催日	時間
はじめての方のパソコン入門《全4回》	基本操作、簡単な文書作成	S6	1/14(木)・15(金)・21(木)・22(金)	13:30～15:30
文書作成初級(ワード2003)《全4回》	ワードの基本操作、案内文の作成など	W5	1/14(木)・15(金)・21(木)・22(金)	9:30～11:30
		W6	1/26(火)・27(水)・2/2(火)・3(水)	13:30～15:30
表計算初級(エクセル2003)《全4回》	エクセルの基本操作、簡単なグラフ作成など	E4	2/2(火)・3(水)・9(火)・10(水)	9:30～11:30
デジカメ写真の活用《全2回》	パソコンへの写真の取り込み、保存、ワードへの挿入など簡単な編集	G2	2/9(火)・10(水)	13:30～16:30

※パソコンのOSはWindows Vista、使用ソフトは、Internet Explorer 7.0、Microsoft ワード 2003・エクセル 2003

これからパソコンを始めたい方、基本操作について学びたい方におすすめの内容です。



生活

LIFE

軽油引取税の免税手続きに関する受付窓口を開設します

▼対象 農業の事業を行っている方、農作業のうち基幹的な作業のすべての委託を受けて行う方
▼日時 平成22年1月15日(金) 午後1時30分～
▼場所 赤羽根市民センター(旧赤羽根支所) 営農支援センター
▼内容 免税軽油使用者証および免税証の交付申請に係る書類の作成
▼その他 申請に必要なものや免税の対象となる機械など、詳しくはお問い合わせください。

▼農政課

☎ 23局 3517 FAX 22局 3817

DONATION

寄付

次の方からご寄付をいただきました。ご厚意に感謝します。

※ふるさと寄附金※

▼10月28日、匿名希望の方から金10万円。

パブリックコメント 意見募集!

●「第2次田原市行政改革大綱案」について

募集期間 ▶ 平成22年1月15日(金)～2月15日(月)

健全な行財政基盤の確立や合理的な行財政運営、サービスの質的向上をめざし、「第2次田原市行政改革大綱」を策定します。

担当課 ▶ 政策推進課 ☎ 23局 3507 FAX 23局 0669

✉ seisaku@city.tahara.aichi.jp

パブリックコメント手続制度に基づき、以下の案件について意見を募集します。



☑意見提出方法

①公表場所へ持参 ②郵便 ③FAX ④Eメール

住所・氏名・電話番号を明記のうえ、意見を提出してください。(個々の意見には直接回答いたしません。)

☑計画案の公表場所

市役所政策推進課、赤羽根市民センター(旧赤羽根支所)、渥美支所市民生活課、中央図書館、市ホームページ

HP http://www.city.tahara.aichi.jp/

広がる未来へ

44

＊たはらエコ・ガーデンシティ構想

●地球温暖化防止①

◆12月は地球温暖化防止月間と大気汚染防止推進月間です

冬は、自動車交通量の増加、ビルや家庭の暖房などで、一年中で最も空気が汚れやすい季節です。また、地球温暖化をもたらす二酸化炭素濃度は、年々増え続けています。皆さんの取り組みで、地球温暖化と大気汚染を防止しましょう。

♡日ごろからできる取り組み

- 暖房温度は20℃以下に設定しましょう
- unnecessary 照明・電気製品の電源をこまめに消しましょう
- 環境にやさしい商品を購入しましょう
- ごみを減らしましょう
- 不要なアイドリングや急発進、急加速をしないなど、エコドライブに努めましょう
- 公共交通機関や自転車を、できるだけ、利用しましょう
- 給湯器の設定温度を、できるだけ低くしましょう



田原駅周辺などには、無料のレンタサイクルがあります。買い物や、サイクリングなどに利用してみたいかがですか。

従来型の給湯器を、高効率給湯器(エコキュートやエコジョーズなどに更新することも効果があります。平成21年度は、高効率給湯器を設置した世帯に、1施設当たり3万円の補助金を出しています。ぜひご利用ください。

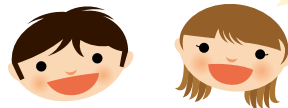
市では、皆さんの省エネ行動を募集しています。たはらエコチャレンジ宣言への登録をして省エネ行動に取り組みましょう。詳しくは、ホームページをご覧ください。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人602人・事業所20か所(11月末現在)

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX 23局0180

HP <http://www.city.taharaaichi.jp/>



省資源とリサイクル

20

今では、各家庭に1台はあるといわれるパソコン。パソコンには、リサイクルすることのできる貴重な資源が使われていることをご存知ですか?今回は、パソコンのリサイクルについてお知らせします。

何が資源になるの?

パソコン本体、ディスプレイ、ノート型パソコンに使われている鉄や銅、プラスチックだけでなく、希少金属である金、銀、コバルトなどもリサイクルできます。

何が回収できるの?

- デスクトップ本体
- CRTディスプレイ ※体型パソコン含む
- 液晶ディスプレイ ※体型パソコン含む
- ノート型パソコン
- 購入時の標準添付品 ※マウス、キーボードなど

データは大丈夫?

ハードディスクは、再資源化センターで破壊処理を行います。使用者の責任でデータの消去をお願いします。



回収場所?

左のリサイクルマークが付いたパソコンは、パソコンメーカーが無料で回収し再資源化します。

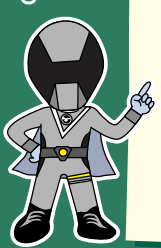
※リサイクルマークのついていないパソコンや、自作パソコンなどは、「パソコン3R推進協会」が有料で回収し再資源化します。



リサイクルに関するお問い合わせ

【メーカーがわかる場合】
各パソコンメーカーのリサイクル受付

【メーカーが不明、自作パソコンなど】
社団法人パソコン3R推進協会
☎(03)52602607 FAX 03-52602605
HP <http://www.pc3r.jp/>



清掃管理課
☎23局35588
FAX 23局0180



交 流 通 信



このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶ 広報秘書課 ☎ 2 2 局 0 1 3 8

友好都市 プリンストン市およびギブソン郡

今回は、田原市の友好都市・米国インディアナ州プリンストン市およびギブソン郡をご紹介します。

● 友好都市提携のきっかけ

トヨタ自動車(株)田原工場が、プリンストン市内にできたインディアナ工場のマザー工場(指導的な役割を担う工場)となり、関係者の往来が盛んであったことをきっかけに、プリンストン市から田原市に交流を申し込まれました。

そして平成14年8月8日、田原市と「プリンストン市およびギブソン郡」は、友好都市として提携を結びました。



◀ ギブソン郡裁判所

プリンストン市内に建つ、ロマネスク様式の建物。その美しい外観は、ギブソン郡のシンボルとして存在感を放っています。(1883年竣工)

● プリンストン市、ギブソン郡はこんなところ

アメリカ北東部、インディアナ州南部に位置し、ギブソン郡の中にプリンストン市があります。郡内のほとんどが農地で、主な作物は小麦や大豆、とうもろこしです。

都市名	人口	面積
プリンストン市	約8,000人	6.4 km ²
ギブソン郡	約33,000人	1,275.0 km ²

● ギブソン郡訪問団がやってきました

11月10日(火)～12日(木)、ギブソン郡訪問団の5名が、田原市長を表敬訪問しました。滞在中は、中学生派遣など教育交流について話し合ったほか、中学校の授業の見学や市内視察を行いました。



▲ 授業を見学する訪問団

- ・意識がある場合は、頭をやや高めにし、て寝かせます。
- ・症状が軽くても安静にさせます。



● 頭部

- ・目、鼻、耳などから出血があったり、吐き気や意識障害があったりする場合は重症です。
- ◎ 応急手当
- ・患部を冷湿布します。



● 手と足

■ 部位別の判断と応急手当

今回は、「打撲」です。
役立つ応急手当について、シリーズでご紹介しています。

忍びよる巨大地震

防災まめ知識

いざというときの応急手当④ 打撲

55



● 胸部と腹部

打ってしばらくしてから倒れたり、症状が軽いと思ってても内臓を損傷していたりする場合があります。

◎ 応急手当(胸部の打撲)

- ・上半身を約45度の角度にして寝かせ、呼吸しやすい姿勢をとらせます。
- ・安静にして呼吸や脈など、症状を観察します。



◎ 応急手当(腹部の打撲)

- ・両ひざの下にまくらなどを挟み、腹部の緊張を解かせます。
- ・吐き気があれば体を横に向かせ、吐物で窒息させないようにします。
- ・飲み物(特にアルコール類)は絶対に飲ませてはいけません。

◎ ポイント

痛みの激しい場合や頭部、胸部、腹部を強く打った場合は、医師の診察を受けましょう。

▼ 防災対策課 ☎ 23局3548

歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club

其の
105



文化財課 ☎23局3635

FAX 22局3811

ローラースケートの時代

あるお宅で、昭和40年代に大流行したローラースケートを見つけた。このローラースケートは、一般に普及していたもので、金属製のフレームの靴底に4個の車輪がつき、靴をはいたままベルトで締めるものです。足の大きさはベルトで調整できます。現在、主流の車輪を縦一列に並べたインラインスケートと呼ばれるシューズとは、ずいぶん違います。ローラースケートの流行は、アメリカで始まった※「ローラーゲー



▲ローラースケート
(昭和40年代前半)

ム」と呼ばれる競技が、昭和43年にテレビ放送されるようになったことがきっかけです。昭和47年には「日米対抗ローラーゲーム」という番組がテレビで毎週放送され、さらに大流行となりました。子どもたちはスケート靴を履き、舗装されはじめた道路で遊ぶようになりました。昭和30年代後半から40年代前半には、交通量が増え交通事故が社会問題化しました。そのため、歩道や横断歩道橋の整備が始まり、子どもを対象にした交通安全教室が行われ、広報の記事にも大きく交通安全の記事が取り上げられるようになりました。車と人間との安全に対する考えが劇的に変化した時代です。昔から



▲田原町巴江にあった町営ローラースケート場のようす
(広報たはら昭和45年10月号掲載)

子どもの遊び場だった道路は、道路交通法で規制された場所であり、ましてや足元の安定しないローラースケートで遊ぶことは危険このうえありません。当時は、子どもの安全と遊び場の確保を考え、西部児童館では、遊戯室を改築しローラースケートができるような工夫をしました。また、昭和45年9月には田原町営のローラースケート場が整備されました。この時代に特定の遊び専用施設が整備されたということは、いかにローラースケートが流行していたかがわかります。ローラースケート場まで通えない子どもたちは、竣工前の車が通っていない道路で、こっ

そり楽しんでいた場合もあるようです。しかし、ローラースケートのブームはまもなく過ぎ去りました。スケート場は、閉鎖され駐車場となり、現在はコンビニエンスストアが営業しています。このローラースケートに接して、いまや忘れ去られたローラースケートブームを思い出しました。ローラースケートが起こした社会現象は、交通安全の意識向上にも影響したに違いありません。

※「ローラーゲーム」とは、チームが攻めと守りに分かれ、サーキットコースで得点を競い合う格闘スポーツです。

(増山)

今月の「表紙」

▼街なかで赤色や緑色などで彩られる華や季節。「年末年始は予定がいっぱい」という方も多いと思います。慌ただしい年末を乗り切り、新しい年を元気に迎えたいものです。インフルエンザや風邪などをひかないために、毎日きちんと予防策。外から帰ったら、うがいと手洗いを忘れずに。(O)

【表紙の写真】ポインセチアの出荷風景(小塩津町)